



Library NEWS

～図書館だより～



令和2年度 晃陽中学校図書館



暑い日も増え、夏が近づいていますね。梅雨が始まります。
外に出られない日は、読書をして心も体もリラックスしてはどうでしょうか。

とにかく 手を洗いましょう

本を借りる前も

図書館を
利用した後も



利用の
まえもあとも手洗いしてね。

すぐ近くの
西階段に水道があります。
そこを利用してください。

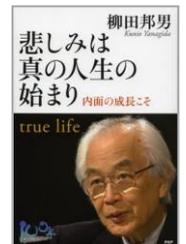


一方通行になりました。
前にいる人との距離をとり、
ソーシャルディスタンスをはかりましょう。

今月15日は県民の日です。栃木県に関する本のコーナーがあります。

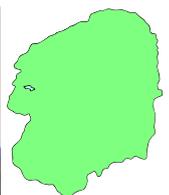
栃木の作家の本

- * 藤石 波矢 (鹿沼市生まれ 1988～)
「今からあなたを脅迫します」シリーズ 913/フ 他
- * 門井 慶喜 (群馬出生宇都宮育ち 1971～)
「銀河鉄道の父」913/カ 他
- * 落合 恵子 (宇都宮市生まれ 1945～)
「愛 考える絵本」E/オ 他
- * 柳田 邦男 (鹿沼市生まれ 1936～)
「悲しみは真の人生の始まり」910/ヤ 他



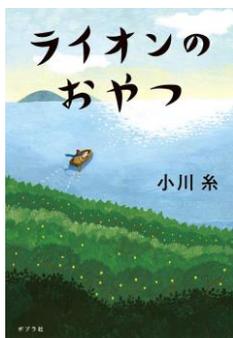
栃木に関する本

- @ 「栃木のおきて」 09/ト
- @ 「栃木県謎解き散歩」福田三男編著 29/フ
- @ 「栃木あるある」阿久津たかを 36/ア





おすすめの本



「ライオンのおやつ」小川 糸著 ポプラ社 255p

ホスピスというのは、死にゆく人が最後に痛くないように、苦しくないように、穏やかに過ごす場所のこと。若くして余命宣告を受けた主人公の雫がすごした瀬戸内海の島にあるホスピスでは、毎週日曜日に、入居者がリクエストできる「おやつの日」がある。雫はなかなか選べずにいた。人生の最後に食べたいおやつは？レモン畑が見える素敵な景色の中で、自分が本当にしたかったことを考える。「死」は悲しいテーマだが、温かい気持ちになれる本。感動本。



「ぼくはイエローでホワイトで、ちょっとブルー」プレイディみかこ著 新潮社 252p

お母さんが日本人でお父さんがアイルランド人。イギリスに住んでいる男の子は、人種も貧富もごちゃまぜの、「元・底辺中学校」に通う。思春期で、毎日が事件の連続。貧富の差でギスギスしたり、生きていくうえで本当に大切なことは何か？悩んだり。世界の縮図のような日常を、思春期真っ只中の息子と 著者である保育士のお母さんが、ともに考え悩み、乗り越えていく。今のイギリスの学校の様子がとてもよくわかる。他の国の話ではなく、自分にもあり得る一人一人の話。中学生の話なので、共感できるはず。大人が読んでも面白い本。ノンフィクション。



「思わず考えちゃう」ヨシタケ シンスケ 著 新潮社 143p

ヨシタケシンスケさんのお話は面白い。これは、スケジュール帳に描きためて「いつでも描いてるスケッチ」から、選んだもの。講演会のあまり時間などに使うらしい。声を出して笑ってしまう面白さ。ほっこりして、リラックスして、元気も出る。ぼやきに近いような文章を読んでいると、いつのまにか、悩みもストレスもどこかへ行ってしまふ。「明日やるよ。すぐやるよ。」クスツとしてホツとして納得できる本。



「一日がしあわせになる朝ごはん」小田真規子 編 文響社 133p

パンに乗せる具や、お茶漬けの具、シリアルを食べ方などのバリエーションを紹介する本。手間をかけずに簡単に！というのがコンセプトなので中学生でも自分で作れるメニューがたくさん。しかもオシャレ。栄養についてもわかりやすく書いてある。朝ごはんをもっともっと楽しくできる！読んでいただけでハッピーになれてワクワクする本。こんなメニューなら、朝から元気がでるはず。

予約できます。

